

公園管理に関わる皆さまへ

公園管理を取り巻く様々な課題を解決しませんか

経営的公園包括管理手法

PARK-SDGs

公園管理・・・こんな悩みはありませんか

□ 町中に点在する街区公園の維持管理が困難になってきた

□ 人が近寄らない公園があり治安や防犯面で課題がある

□ 民間の経験とノウハウを生かし人の集まる公園をつくりたい

□ 民間を活用し価値を生み出す公園をつくりたい

□ クレームが多い公園の管理運用を見直したい

このままでは予算措置できず管理がままならなくなる地域の公園、サステイナブルな[新時代の公園管理ソリューション](#)が必須です

PARK-SDGsソリューションが解決します

経営的公園包括管理手法

PARK-SDGs

の導入

「稼げる」公園による価値創出

全公園の効率的・合理的管理

クレーム減少・市民満足度向上

👍 メリットその1

ステークホルダー間の
合意形成・アウトカム実現で
市民・行政・民間三方良し

👍 メリットその2

民間事業が上げる収益を
全公園の管理費に充てる
維持管理事業システム

👍 メリットその3

地域住民の積極的な使いこなしを誘導し、人の居ない公園が
コミュニティつどいの場に

PARK - SDGs は投資による収益事業導入と全公園がその収益を
広く活用する 経営的公園管理ソリューション です。



町田誠 (makoto Machida)

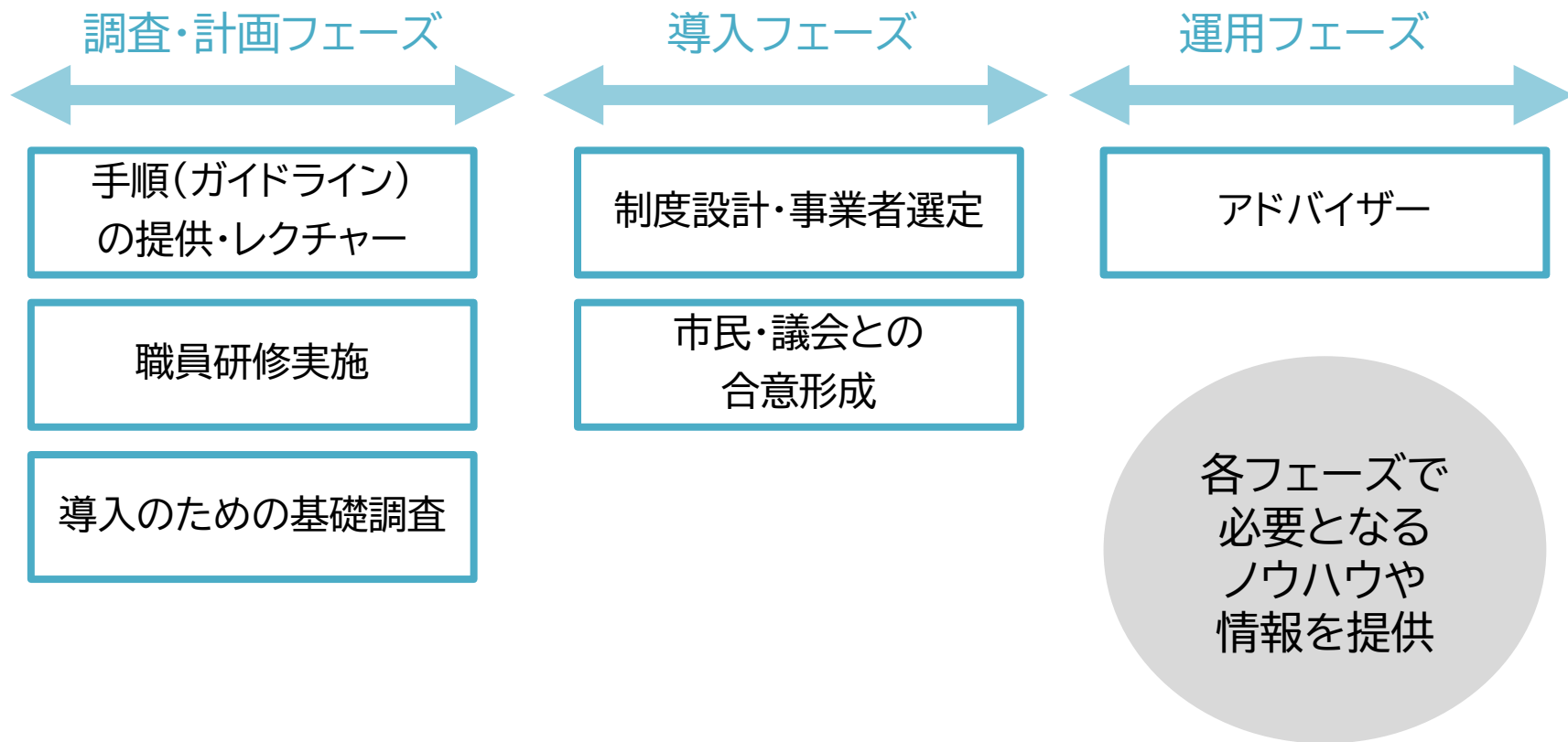
プロフィール

国土交通省PPPサポーター。千葉大学・横浜市立大学非常勤講師。1982年建設省。国土交通省、国土庁等で勤務の他、2000年国際園芸・造園博覧会ジャパンフローラ2000(淡路花博)、2005年日本国際博覧会(愛知万博)、2012年全国都市緑化フェアTOKYO GREEN2012において、会場整備、大型コンテンツのプロモート・企画運営等に携わる。さいたま市技監、東京都建設局公園緑地部長、国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長、公園緑地・景観課長などを歴任。

都市公園の民間活用が進む契機となった公募設置管理制度 (Park-PFI)の生みの親である町田誠氏。[公園の積極的活用によるまちづくりを推進する第一人者](#)です。

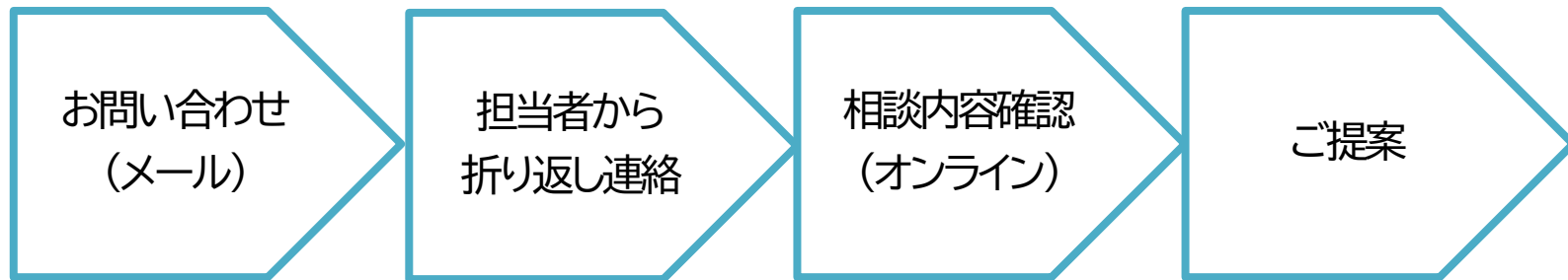
Park-SDGsソリューションは町田氏の総合企画・監修により生み出された[サステナブルな公園管理](#)を実現する新時代のソリューション。プロジェクト推進も町田氏が監修・支援します。

段階ごとの提供サービス



お問い合わせ後の流れ

- ✓ 類似事例の紹介や最適な進め方等のご提案をいたします。まずはお気軽にご相談ください。



- ✓ ニーズに応じて支援の範囲は自由に設計可能

【支援パターンの例】

手法の理解と職員への研修だけ欲しい

計画策定まで支援して欲しい

運用までトータルで支援して欲しい



お問い合わせ

(株)Public dots & Company 公民連携推進室



info@publicdots.com

<https://www.publicdots.com/>